



福祉と住環境を考える

ふくてっく

2007年6月
第73号

特定非営利活動法人
ふくてっく

559-0034大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟 11F イツゞ以L
TEL/FAX 06-6614-6800 ホームページ http://www.occn.zaq.ne.jp/fukutech/

住宅改修 事例報告

大阪市内70歳代前半男性
下肢障害で車いす使用の
依頼者より、「今度、介護
付き有料老人ホームへ入居
することにしました。浴
室の入浴台を設けてほしい
んですが。」との依頼を受
けました。

その有料老人ホーム、某
駅から徒歩数分、筋ジス
トロフィー症の春山満氏の
企画。設計は、以前僕が勤
めておりましたN建築事



務所。5、6年前、たま
まN事務所からの依頼で基
本計画の段階で、少し協力
させていたいただいた経緯が
ありました。オープンの時、
春山満氏の講演を聞きまし
た。その講演要旨は前回の
ふくてっく広報に載せてい
ただいております。

さっそく、立溝会員と磯
田百合子会員といっしょに
初期診断に参りました。辞
めた事務所に向うは言いた
くありませんが、高齢者施
設ならもう少し、きめ細か
いバリアフリーを徹底させ
るべき、という印象でし
た。

「現在使用しているよう
な入浴台を設置して頂きた
い」というのが
依頼者のご要望
でした。それ
によく似た樹脂
製の入浴台をい
ろいろ探しまし
た。みつかっ
たものが、Y社
の製品。後でわ
かったのです
が、その現在ご
使用の台もY社
で製作。

今回の改修に
おいて問題が、
二つありまし
た。一つは、
依頼者の奥様が
希望されている
手すりの設置。
改修は有料老人
ホームのオー
ナー会社のおか
かえの工務店しか施工でき
ないという「決まり」があ
りました。まったくくだら
ない「決まり」ですが、仕
方ありません。

市民がつくる共生社会 講座を受けて 畑 俊治

2月17日大阪駅前第2
ビルの中の大阪市立総合生
涯学習センターにて、午前
10時からでした。9時半ご
る第2ビルに到着、早く着
きすぎたが、それからが大
変。学習センターが何階に
あるのか、パンフレットに
書いていないので、第2ビ
ル1階をうろろ。どこに
も表示がありません。総合

介護保険を利用し、依
頼者の負担をできるだけ
少なくするために、ふく
てっく会員の知り合いの
業者さんに申請をしてい
ただくことにしました。
(畑 俊治)

民間の会社や店舗では考
えられないことです。しか
たなく2階から順番に探す
ことにしました。4階を廻
り終わったとき、9時55
分。10階以上はあるビル、
もう間に合わない、もう帰
ろうか?せっかく高槻から
来たので、あともう一階
上ってみよう、5階にやっ
とありました。しかし、ど
の部屋が会場か?うろろ
してしまいました、ある部屋
の奥に、杉浦さんの頭が見
えました。

僕が受講したのは、福祉
コース事例発表。
① NPO法人ナルク 大
阪いちようの会 広岡代表
1994年設立。現在全
国に124の活動拠点。
「自立・奉仕・助け合い」
がモットー。活動内容は、
家事援助、外出介助、特養
等でのボランティア、環境
美化等のボランティア、同
好会、サークル活動。
1時間1点の時間預託制
度の取り入れ、自分以外の
家族も利用可。会員の多く
は退職サラリーマン。会員
数、なんと2万人。
「アメリカは寄付社
会、年間20兆円、日本は
1000億。だから無償
ボランティアというのは日

本では困難です」(広岡
氏) (日本も寄付金の税優
遇をもっと考えるべきです
ね。)

② 社会福祉法人 博愛の
園 西岡施設長
(確か、博愛社は日本で
一番古い社会福祉法人) 児
童養護施設は1890年
設立。特養、博愛の園は
1998年開設。
ボランティアを積極的に
受け入れていきます。そし
て施設側はいつさいボラ
ンティア活動の管理はしま
せん。活動内容は喫茶・
バー、園芸、読書、フット
ケア、歌、体操、フラワー
アレンジメント、カラーセ
ラピー、等々。喫茶・バー
の名前は「G&BAR」
(じいちゃん&ばあちゃ
ん)

③ 社会福祉法人 至善会
蒲生の家 瀬川施設長
大阪市城東区の高齢化率
85%という地域で認知症の
高齢者のデイサービス。昭
和7年築、40坪の民家を
改修して、小規模ケアの実
践。宿泊も可。365日24
時間受け入れ可能な宅老所
にしたかった。
介護とは何か? 10年経っ
て、わかりました。人と
人とのかわりを大事にし
て、その人の誇りを大切に
することです。職員7名。
(畑 俊治)

こむねつと部会
活動状況を
ふりかえって

こむねつと部会では、東
大阪市の活動と福祉サービ
ス第三者評価がようやく端
緒にいったという所だ。
いったい、いつの頃からこ
んな方向が芽生えたのか、
少し過去を振り返ってみ
た。

平成15年6月に「おおさ
かすまいコムネット」とい
う看板でCB企画を提案し
たのが発端だ。第1回の設
立準備会は同年10月4日、
出席者はわずか8名。

翌年、瀬戸武治氏のコン
サルディングを受けながら
CBの具体化を模索するう
ちに、住宅改修事業の第三
者評価というテーマが浮上
し、大阪市内に働きかける
も、なかなか事業化が進
展しなかった。それでも毎
月のように事業計画や理念
を議論する輪に参加するメ
ンバーが増えて行った。

なにも形のない夢になぜ気
持ちは共有し語り合えたの
か、今にして思えば不思議
な一年であった。

そうこうするうちに、福
祉サービス第三者評価とい
うテーマに出会い、迷わず
取り組んで認証機関となっ
たのが平成16年6月、そし

てその年の秋に思いがけず
東大阪市の委託事業企画
が滑り出した。平成18年
は、そうして始まった2つ
の事業の幼生期だったと言
える。

東大阪市の活動は、初年
度の活動をおえて、まだま
だ課題は残しつつも想定以
上の成を達成できたと思っ
て恥じることはない。
しんどいことをし終えた仲
間にしかわかり得ない満足
感が得られたことはこの上
ない喜びだ。ふくてつくの
ミッションに大きなページ
を拓いたことは疑う余地は
ない。

住宅改修による居住環境
の向上はしていないテーマで
あり、ふくてつくが従来か
らの直接的改修当事者であ
るとともに、それを第三者
評価し適正検証するという
両輪体制を構築したことは
画期的なことだ。

その上で、活動のなかで
行政との協働関係のあり方
についての様々な課題発見
もあった。その中から、ふ
くてつくという専門職+市
民感覚という摩訶不思議な
団体の新たなミッションが
見いだせる可能性も秘めて
いる。行政との協働は、た
だ単なる下請けではもちろ
んないし、補完でもない。
活動をじていかに行政改革
ができるか、市民啓発がで

きるか、ということに帰着
しないと意味がないのでは
ないか。初年度の成に甘ん
じず、2年目は2年目の課
題がある。ますますの精進
が求められる所だ。

次に福祉サービス第三者
評価は、平成17年6月に
早々と機関認証を受けなが
ら、なかなか評価活動を
実現する事はできなかった。
しかし、その間、ふく
てつくならではの評価基準
づくりには、並々なりエネ
ルギーが費やされた。結の
あるなしに関わらず集い議
論した、あのあつち思い。
常のビジネスでも、またボ
ランティア活動でもそれは
あり得ない、まさしくCB
を萌芽させる仲間形成がそ
こにあった。たまたまそれ
が第三者評価であっただけ
で、の目的であったもよ
かったかもしれない。とも
あれ、ふくてつくの評価基
準にはメンバーの膨大な思
いとエネルギーが集約され
ている。それがようやく、
この春にうぶごえをあげる
ことができた。これもま
た、自画自賛ながら上々の
出来映えと自認している。

ところが、この第三者評
価事業をめぐる背景が誠に
厳しく流動的である。ふく
てつくの本来の設立理念や
社会の求める所をどう見極
めるか、あるいは参画メン

バー個々の人生哲
学や心情など、
様々に環境因子が
入り乱れ、今後の
展開は予断を許さ
ない。どこに最終
帰着点を求めて行
くか、それは難し
く予測もつかない
ところだ。

まあともあれ2
つの事業が前進を
始めた。それぞれ
に「楽・快・遊」
は乏しく「苦・
労・辛」ばかり
だ。高杉晋作は
言った。「人は艱
難はともにできる
が、富貴はともに
できない」と。苦
しい課題があるか
ら仲間があり、そ
して人生は豊かな
んだと・・・

ふくてつくが
なにを目指して
いるのか、それは
個々に様々かもし
れない。でもすく
なくとも、こむ
ねつとが目指し
たものはその本質
を外していない
かと思うが、いか
がであろうか。
(中北 清)

活動報告 2006/12/1~2007/5/31

◆学習会

- 12/2 「キャスターを超えたキャスター」 & 「仕掛け時計」 刈田保志氏
- 1/6 「雨水（あまみず）利用と災害時のトイレ」 関西雨水（あまみず）市民の会副会長 久保正年氏
- 2/3 「人間関係の織りなすダイナミズム」 詩人・NPO法人こえとことばとこころの部屋代表 上田假奈代氏
- 3/3 「野宿生活者の現実」 (社福)日本ヘレンケラー財団 織田隆之氏
- 4/7 「CM映像創りの舞台裏～企画とデザイン」 東映CMサービス 倉乙彦氏
- 5/12 「緑（植栽）について」 矢壁律子氏
- ◆臨時総会
- 2/3 定款変更について
- ◆理事会
- 3/3 16:45~17:20 フェスティバルゲート事業コンペ
- 4/21 11:30~12:05 住宅改修事業の委託について
- ◆住宅改修部
- 大阪府立咲洲高校 ステージ階段作製
- A邸 大阪市内 手すり取付け
- B邸 大阪市内 手すり取付け・段差解消
- ◆木工部

- 4/14 らくだ林園 会
- 員参加5名
- 4/15 エフ・エー 春休み親子木工教室 会員参加8名
- 4/22 こどもカーニバル 会員
- 参加12名
- 5/13・27 木工倉庫引越し 会員参加延べ21名
- ◆こむねつと部
- 毎月第1・3土曜日午前打合せ(原則)
- ◆TOTO水環境基金助成事業への取組み
- 12/9 第4回 各ブロック毎の進行状況報告他
- 12/23 第5回 「癒しの泉とトイレ」で最終目標をどこに向けていくのかのブレインストーミングを開始
- 1/13 第6回 各ブロックの進行状況報告
- 1/27 第7回 癒し、トイレ、泉についてマインドマップを利用、キーワードの検討、抽出
- 2/10 第8回 癒し、トイレ、泉についてマインドマップを利用、キーワードの検討、抽出
- 2/24 第9回 マインドマップと全体コンセプトの決定
- 3/10 第10回 癒しの泉 全体イメージ提案、検討
- 4/21 第11回 担当 進行状況の確認、今後の進め方の確認、中間報告のまとめ
- 5/19 第12回 今までの内容の整理(中間報告をもとに)、具
- 体的計画

童仙房

「らくだ林園」

小さな手のやさしさ
が大きな樹へ

100年前まで未開拓
だった童仙房、西上さんは
どんな思いでこんな人里は
なれた

「お山に惚れたんでしょ
う」

らくだ林園主宰の西上泰
子さんは語る「半労半遊の
農林作業サークルです。歩
き

始めたばかりの団体です。
現在ボランティア会員を募
集しています」と。

ボランティア情報セン
ター前を出発して2時間余
り、有馬さん長岩さんのガ
イドで

漸く目的地付近に到着。

ここでは人の気配はな
し。樹のに匂いにつつま
れたおいしい空気を味わ
いながら辿り着くと、西
上さんはもう先に来られ
ていて私達を笑顔で迎え
てくれました。

どうして「ふくてつく
木工部」にご縁があった
のか、詳しくは知らない
けれど、西上さんたちが
こつこつと育てたまつす
ぐのびる「檜」やちよつ
とななめなつた「赤
松」、かわいそうだけど



切り落とされた枝や数え切
れない間伐材などが「山の
中いっぱいにある」

ここでは「ふくてつく
の全員」が来ての間伐材を
10分の1も持って帰るこ
とが出来ないだろう。今回

は「ふくてつくのオヤジ連
中」が集いて山に挑戦、い
でたちはそこそこのなるも仕
事の様は「遊が勝ちで労は
いたい？」といった所。

西上さんは毎週末には山
にいられているとのこと、
いつでもここに来て間伐材
を引き取って下さいと嬉し
い誘いをいただいています
。さーどうする。若手の
メンバーに期待することに
しよう。

参加者 有馬、杉浦、松
本、長岩、池端 (池端
一義)

木工教室

こどもカーニバル

4月22日(日)は、こど
もカーニバル開催日、朝起
きて外を見ると前日の天気
予報が的中したか空はドン
ヨリ不安な一日を予感しま
した。でも実施されると聞
き現地に行ってみると既に

多くの人が準備を始めてお
り、すぐに私もその一員に
加わり動きだしました。
準備が完了、2時から市
幹部挨拶で始まり、各地区
の学校が集まったカワイ
イ美しいユニフォームを着
たブラスバンドの子ども達
は、リーダーの指揮のもと
音楽を鳴らし行進を始めま
した。これを機に多くの入
場者が大阪城公園太陽の広場
を、何か白いものはないか
と右や左へと楽しみを求め
動き出しました。

「ふくてつく」は木工教
室、見本品選びから始まる
材料探しと
親子工作、
多くの家族
が集まり楽
しくスター
トした教
室もワイワ
イ、ガヤガ
ヤすぐにお
昼がきてし



まいりました。

ところが天気予報が的
中、お昼には「雨」が降り
出し各会場は混乱、木工会
場も足元は濡れてくる、ノ
コギリは動きずらくなる、
大会本部からの承認もあり
木工教室は午前中で終了。
子ども達には気の毒でした
があきらめてもらいまし
た。

資材撤去はカーニバル終
了の3時迄待機、会話あり
見学ありの時間を過しまし
た。
でもブラスバンドの子ども
達は今日のこの日に向けて
練習してきたのでしよう、
雨の中をズブ濡れになり
ラッパを鳴らし太鼓をたた
き笛を吹きガンバッティま
した。

そんな姿を見て、私たち
大人は少し「ハズカシイ」
思いをした一日でした。
(西川 朋生)

木工倉庫の
お引越し

お引越し

私が約10年前にふ
くてつくに入会した
時、杉浦さんが「私
の責任で木工部の拠
点を探します。」と言
われました。まだふ
くてつくのことがよ
くわかっていなかった
私はその言葉を信
じて、すぐにでも拠
点ができるものだと思
っていました。私も
その頃はおぼこかつ
た。

そんな話も忘れか
けていたころ、突然
話が持ち上がり、旭区
に倉庫兼工房をお借
りすることができ、
先日引越しをすませ
ました。オーナーは
有償ボランティア連絡
会のメンバーである
「NPO法人フェリス
モモンテ」理事長さ
んです。

毎月第2・4土曜日10時
からを工房利用日とし、希
望者は有馬さんに申し出
てください。その他の日でも
3人集まれば利用可能とし
ます。(ただし、有馬さん
の都合による)
引越しお手伝いの方、お
疲れさまでした。立溝さ

ワンルームマンションの1階、



ん、車ありがとうございま
した。吉本さん、今まで倉
庫を貸していただき、大変
お世話になりました。お礼
申し上げます。

地下鉄谷町線・今里筋線
「太子橋今市」徒歩5分

(和泉 秀子)

住宅改修 事例報告

大阪市内86歳代前半女性

●経緯

平成18年12月26日 ふくてっく畑氏よりメールにて
ケイホールメンテに依頼有
り

平成19年1月5日 ケアマ
ネージャー(やわらぎ山内
様)に連絡、日程調整

1月12日 初回訪問

1月16日 2回目訪問、見
積書提出、一部変更

2月1日 3回目訪問、最
終確認

2月12日 施工

2月22日 完了申請提出

●依頼者 要介護1。身体
状況及び既往歴等Ⅱ気管支
喘息による呼吸困難、吸入
療法にて加療中。両肢第
2、4指の屈曲制限有り、
握力が弱い。骨粗鬆症もあ
り、歩行機能を含めた身体
機能全が低下。歩行は室内
は伝い歩き、外出時は歩行
器及び手引きによる。排泄
及び食事は自立。その他、
白内障により平成18年2月
に左眼を手術。

A 依頼内容

①玄関上がり框の段差移動
の改善

②洗所入口の段差移動及び

洗所・浴室への水平移動時
の安全性の確保
③浴室出入口及び浴槽出入
りの安全性の確保

B 日常生活と家庭状況
家族所有鉄筋1階建て
2階部分に独居。娘さんが
1ヶ月のうち約20日間滞在
し介助を行っているが、
食事及び排泄については自
立可能なため、動作が困難
であったり危険な箇所を介
護保険住宅改修を利用して
改善することにより、室内
においてできる限り自立
した生活を送れるようにす
る。特に段差移動が困難な
ため、段差解消と手摺の設
置を検討。各部現況は次の
りである。

①玄関 上がり框の段差が
約140mmあり段差移動が
困難なため、家族が50mm巾
のガムテープを4本脚代わ
りに並べた上に300mm角
ほどの板を乗せて踏台とし
ていた。また、手摺は無く
袖壁額縁部分を持って上肢
の支えとしていた。

②洗所 リビングから洗所
に入る部分に約5mmの段差
有り。タオル掛けを上肢の
支えにしていたが、緩んで
きており、壁より落下の危
険性があった。また浴室ま
での間、手摺は無く、収納
部などの凹を上肢の支えと
して移動を行っていた。

③浴室 浴室建具の開閉時

に上肢の支えとなるものが
無く、立が不安定になり
転倒の危険性があった。ま
た、浴室内には手摺は設置
されてはいたが、特に浴槽
出入り部分の横手摺の置が
高すぎて、浴槽内からの立
上がり時に手が届かなかっ
た。

C 解決方法
①玄関 木製踏台の設置。
高さ及び奥行きはすぐに決
まったが、横巾は最後まで
決まらなかったため、想定
寸法より長く制作し、施工
時に少しづつ切詰めて長さ
を決定するものとした。

②浴室 浴室建具横(洗所
側)に樹脂製縦手摺を設
置。洗所同様に下地補強板
を併用。握りやすいように
オフセット型を選択。尚、
T社樹脂製手摺は標準では
取付け座の直径が8mmであ
るが、今回は下地板及び手
摺については袖壁の両

に2本1組で設置。握りや
すいようにオフセット型の
ブラケットを使用。

③洗所 段差移動時と水平
移動時の上肢の支えを兼ね
てL型手摺を洗化粧台横に
設置。ご家族の意向で木製
ではなく樹脂製を選択。壁
の材質がプラスチックボード
であり、適切な置に間柱等
の下地が無かったため、下
地補強板を併用。

また、洗化粧台横の収
納部に小型の横手摺を設置
し、浴室までの水平移動時
の上肢の支えとする。



①玄関 木製踏み台設置、手摺り取り付け

また、浴室内
手摺は、浴槽出
入りと浴室出入
りの際の上肢の
支えを兼ねてL
型手摺を設置。
壁がユニット
バス鋼製化粧パ
ネルのため、用アンカーを
使用。寸法及び仕様につい
てご家族から細かい要望が
あり、既製品及び部品組合
せによる準オーダーでは対
応不可能なため、S社にて
完全オーダーとなった。
(600mm×255mm、ス
テンレス鏡仕上)
D 改善後の状況
施工当日はご本人がデイ
サービスに行かれるとのこ
とで事前に設置高さや寸法
等を確認の上、娘さんの立
ち会い確認の上で施工をす
めることとなった。ま
た、完了後はデイサービス
から帰宅された際に一度簡
単に確認していただいた
が、残念ながら、ご家族の
意向により、詳しい検証に
立ち会うことができなかつ
たため、ケアマネージャー
に詳細を報告し、以後の
フォローをお願いして工事
は完了とさせていただきます。
(佐久川尚士)

また、洗化粧台横の収
納部に小型の横手摺を設
置し、浴室までの水平移動時
の上肢の支えとする。

また、浴室内
手摺は、浴槽出
入りと浴室出入
りの際の上肢の
支えを兼ねてL
型手摺を設置。
壁がユニット
バス鋼製化粧パ
ネルのため、用アンカーを
使用。寸法及び仕様につい
てご家族から細かい要望が
あり、既製品及び部品組合
せによる準オーダーでは対
応不可能なため、S社にて
完全オーダーとなった。
(600mm×255mm、ス
テンレス鏡仕上)



②洗化粧台横にL型手摺取り付け



③浴室内にL型手摺り取り付け